

第2章 高齢化・少子化社会と住宅・社会資本整備

第2章 高齢化・少子化社会と住宅・社会資本整備

1. 高齢化・少子化の地域別動向

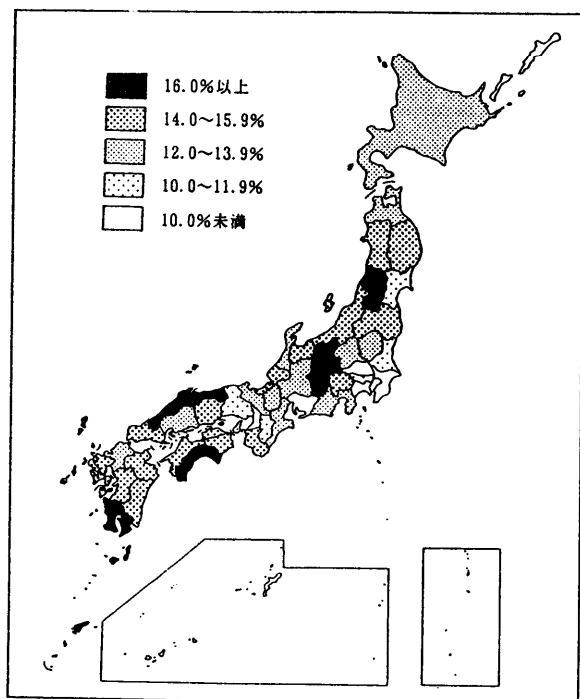
本章では、高齢化・少子化の地域社会への影響や住宅・社会資本整備の関係について考察するため、人口年齢構造や人口移動の変化に注目し、地域社会の将来像を想定し、住宅・社会資本整備の今後の方向性を検討する。

(1) 地域別概況

1) 人口の年齢構造

現在の高齢化率を地域別にみると、大都市圏で低く、過疎地域を抱える地方圏で高いという状況にある（図2-1-1、表2-1-1）。特に過疎地域では、高齢者が多いだけでなく、若年層が流出した結果としてひとり暮らしや高齢夫婦のみの世帯が多く、広範な地域に多数の高齢者が散在しているという特徴がある¹⁾。

図2-1-1 都道府県別高齢者人口の割合
(1990年)



出所) 総務庁統計局

「日本の人口（平成2年国勢調査）」

表2-1-1 高齢者人口比率の高い市町村、
低い市町村各10位(国勢調査)

(1) 高率10位の市町村

順位	市町村名	総人口		老年人口割合(%)	
		平成2年	昭和60年	平成2年	昭和60年
1	山口県東和町	6,399	7,048	41.5	35.2
2	三重県紀和町	2,065	2,351	36.6	28.3
3	沖縄市栗国村	930	930	36.2	31.5
4	高知県池川町	2,744	3,019	35.7	27.8
5	愛媛県関前村	1,225	1,397	35.6	28.6
6	島根県知夫村	855	941	35.4	29.8
7	広島県作木村	2,226	2,439	35.2	28.5
8	山梨県芦川村	742	843	34.4	27.9
8	鹿児島県大浦町	3,506	3,764	34.4	28.6
10	山口県橘町	6,915	7,718	33.7	27.4

(2) 低率10位の市町村

順位	市町村名	総人口		老年人口割合(%)	
		平成2年	昭和60年	平成2年	昭和60年
1	千葉県浦安市	115,675	93,756	4.3	4.1
2	埼玉県三郷市	128,376	107,964	5.2	4.6
3	埼玉県鶴ヶ島町	63,064	49,381	5.4	4.8
4	東京都多摩市	144,489	122,135	5.7	5.0
4	埼玉県大井町	39,213	37,035	5.7	4.7
6	神奈川県綾瀬市	77,926	71,152	5.9	4.9
7	沖縄市浦添市	89,994	81,611	6.1	5.2
7	埼玉県八潮市	72,473	67,635	6.1	5.3
9	埼玉県草加市	206,132	194,205	6.2	5.2
9	埼玉県越谷市	285,259	253,479	6.2	5.3
9	埼玉県志木市	63,491	58,935	6.2	5.2

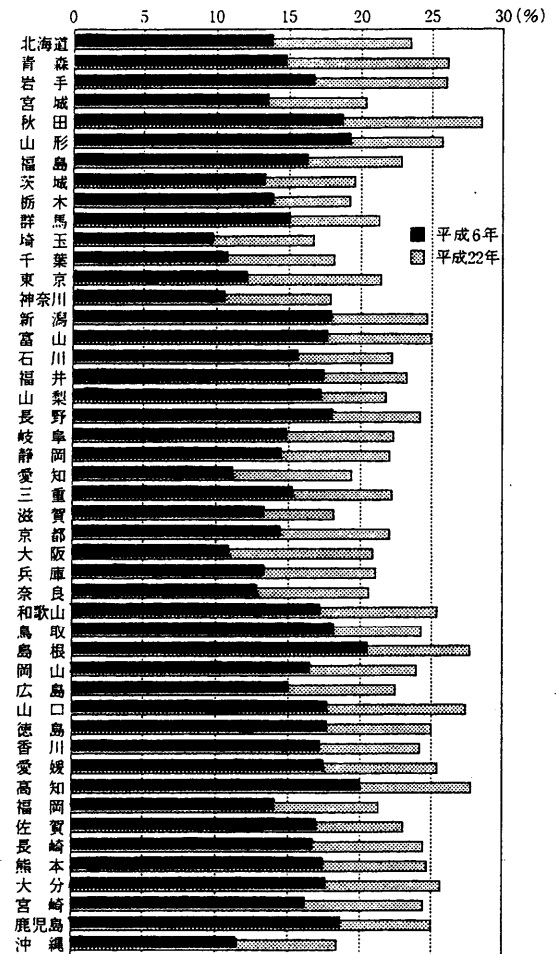
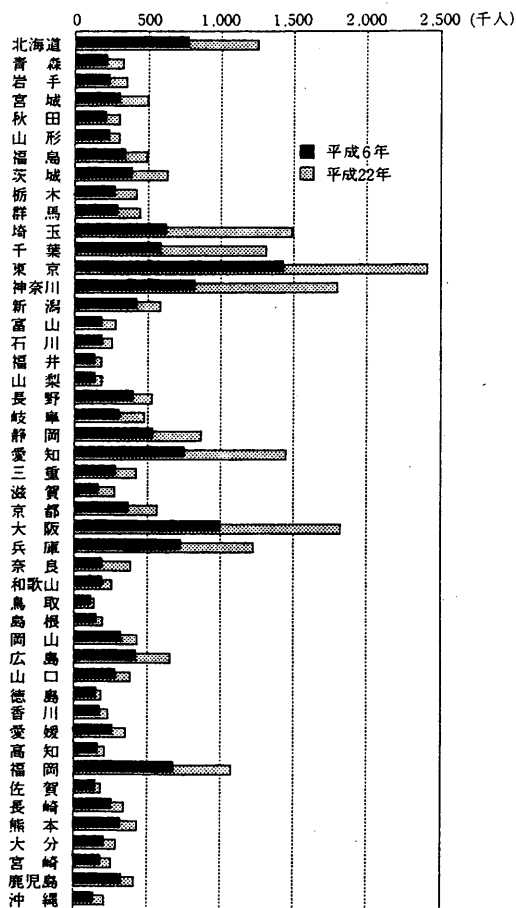
出所) エイジング総合研究センター

「長寿社会基礎資料年鑑 1995・96年版」

将来は、高齢者数は大都市地域で多くなる見込みである（図2-1-2）。一方、高齢者人口割合は全国的に上昇するなかで特に地方部で高くなり、都道府県間の高齢者人口割合の差は更に広がっていくものとみられている²⁾（図2-1-3）。

図2-1-2 都道府県別高齢者数の将来推計

図2-1-3 都道府県別高齢者人口割合の将来推計

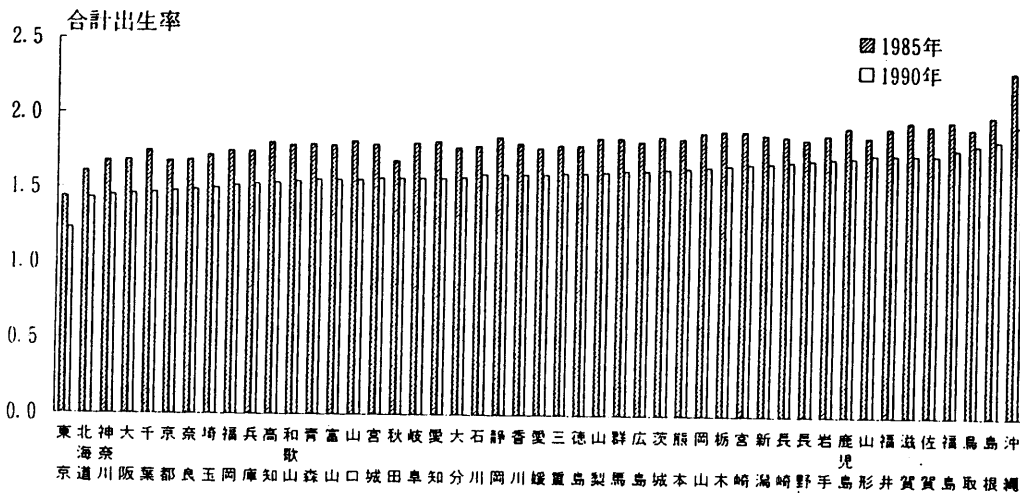


資料) 厚生省人口問題研究所「都道府県別将来推計人口(平成4年10月推計)」

出所) 総務庁「長寿社会対策の動向と展望」

次に、少子化についてみると、現在の合計特殊出生率は東京や大阪などの大都市圏で低い（図2-1-4）。1992年国民生活白書によると、その要因は、既婚女性の出生率が低く、その中でも特に就業女性の出生率が低いことにあるとされている。なお、厚生省人口問題研究所の分析³⁾によれば、仕事と結婚や育児の両立の困難性が出生率の低下要因であるとされている。

図2-1-4 都道府県別合計特殊出生率の推移：1985、1990



出所) 厚生省人口問題研究所「都道府県別将来推計人口(平成4年10月推計)」

(2) 地域別高齢化の動向

ここでは、地域別の高齢化の動向を詳しくみるため、1990年の国勢調査データをもとに、都道府県別の人口密度と高齢化率及び1人暮らし高齢者世帯率の関係について考察を行う。

1) 高齢化率

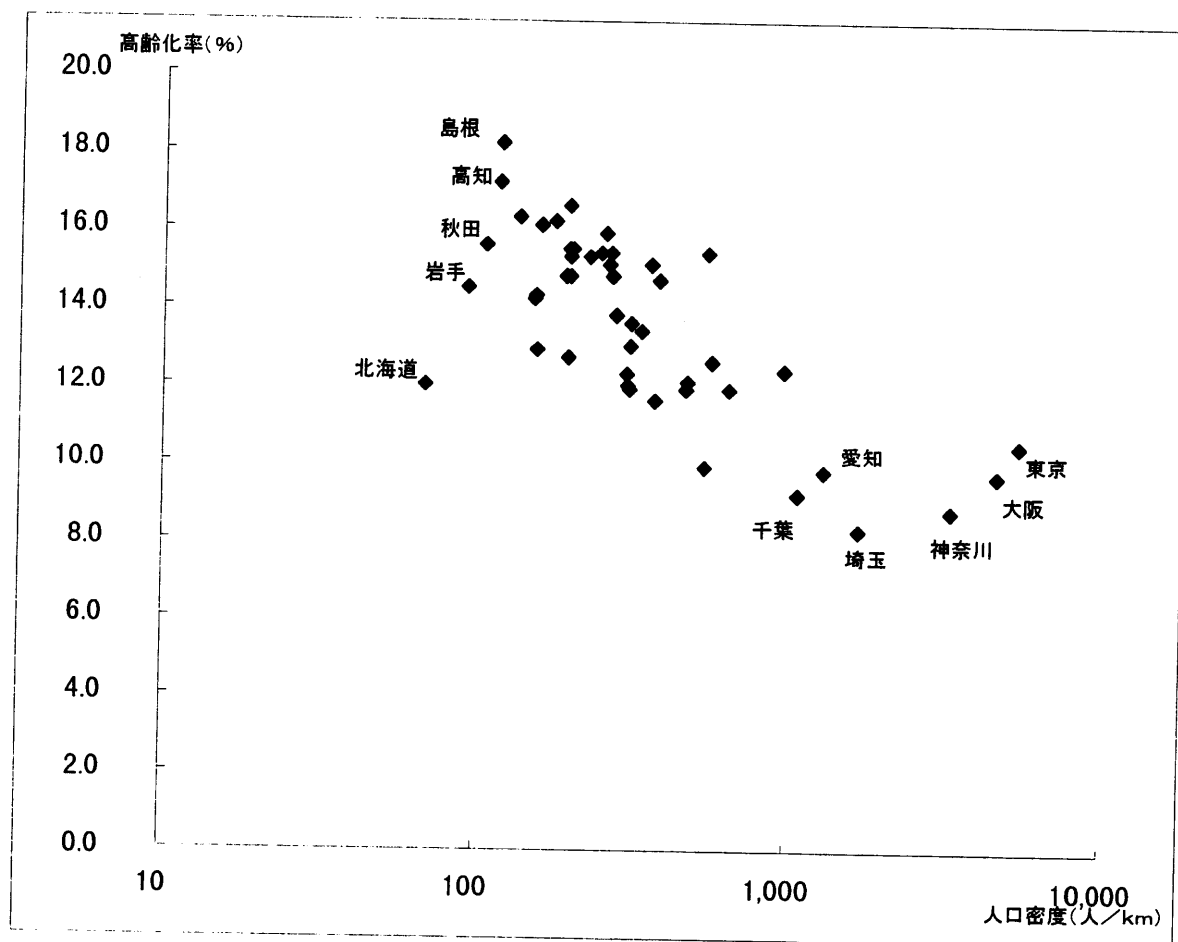
図2-1-5は、横軸に各都道府県別の人口密度を、縦軸に各都道府県における65歳以上の人口の全人口に占める割合（高齢化率）をとった散布図である。全体的な特徴として、人口密度が上昇するにしたがって高齢化率が低下する傾向が示されている。

都道府県別にみると、人口密度が高く、比較的高齢化率が低い都道府県として、神奈川県、埼玉県、愛知県、千葉県があげられる。なお、東京都については、人口密度が最も高いにもかかわらず高齢化率は、神奈川県、埼玉県、千葉県等に比べやや高い。この原因としては、従来から居住している世帯の高齢化や、居住コストなどの要因による若年人口の周辺県への転出などが考えられる。

また、人口密度が低く、高齢化率の高い県としては、岩手県、秋田県、高知県、島根県があげられる。人口密度が上昇するにしたがって高齢化率が減少する理由は、高度成長期において、三大都市圏を中心とする都市部や地方中枢都市に若年層を中心とした人口流入が進んだことがあげられるが、その裏返しとして地方においては、過疎と高齢化が同時に進んでいることがわかる。

なお、政令市が位置する上記以外の県では、宮城県（11.9%）、京都府（12.6%）、兵庫県（11.9%）、広島県（13.4%）、福岡県（12.4%）など全国平均周辺（12%）に位置している。

図2-1-5 都道府県別人口密度と高齢化率との関係



	人口密度 (人/km)	高齢化率 (%)		人口密度 (人/km)	高齢化率 (%)		人口密度 (人/km)	高齢化率 (%)
北海道	67.7	12.0	石川	278.3	13.8	岡山	270.8	14.8
青森	154.4	12.9	福井	196.7	14.8	広島	336.3	13.4
岩手	92.8	14.5	山梨	191.0	14.8	山口	257.4	15.9
宮城	308.7	11.9	長野	158.8	16.1	徳島	200.7	15.5
秋田	105.7	15.6	岐阜	195.0	12.7	香川	545.9	15.4
山形	135.0	16.3	静岡	471.9	12.1	愛媛	267.0	15.4
福島	152.7	14.3	愛知	1,299.9	9.8	高知	116.1	17.2
茨城	467.0	11.9	三重	310.4	13.6	福岡	968.9	12.4
栃木	302.0	12.3	滋賀	304.3	12.0	佐賀	360.0	15.1
群馬	309.0	13.0	京都	564.3	12.6	長崎	382.3	14.7
埼玉	1686.8	8.3	大阪	4,636.5	9.7	熊本	248.7	15.4
千葉	1077.5	9.2	兵庫	644.9	11.9	大分	195.2	15.5
東京	5430.2	10.5	奈良	372.7	11.6	宮崎	151.2	14.2
神奈川	3308.5	8.8	和歌山	227.5	15.3	鹿児島	195.8	16.6
新潟	196.7	15.3	鳥取	176.0	16.2	沖縄	539.9	9.9
富山	263.8	15.1	島根	117.9	18.2			

注) 高齢化率=65歳以上人口/全人口

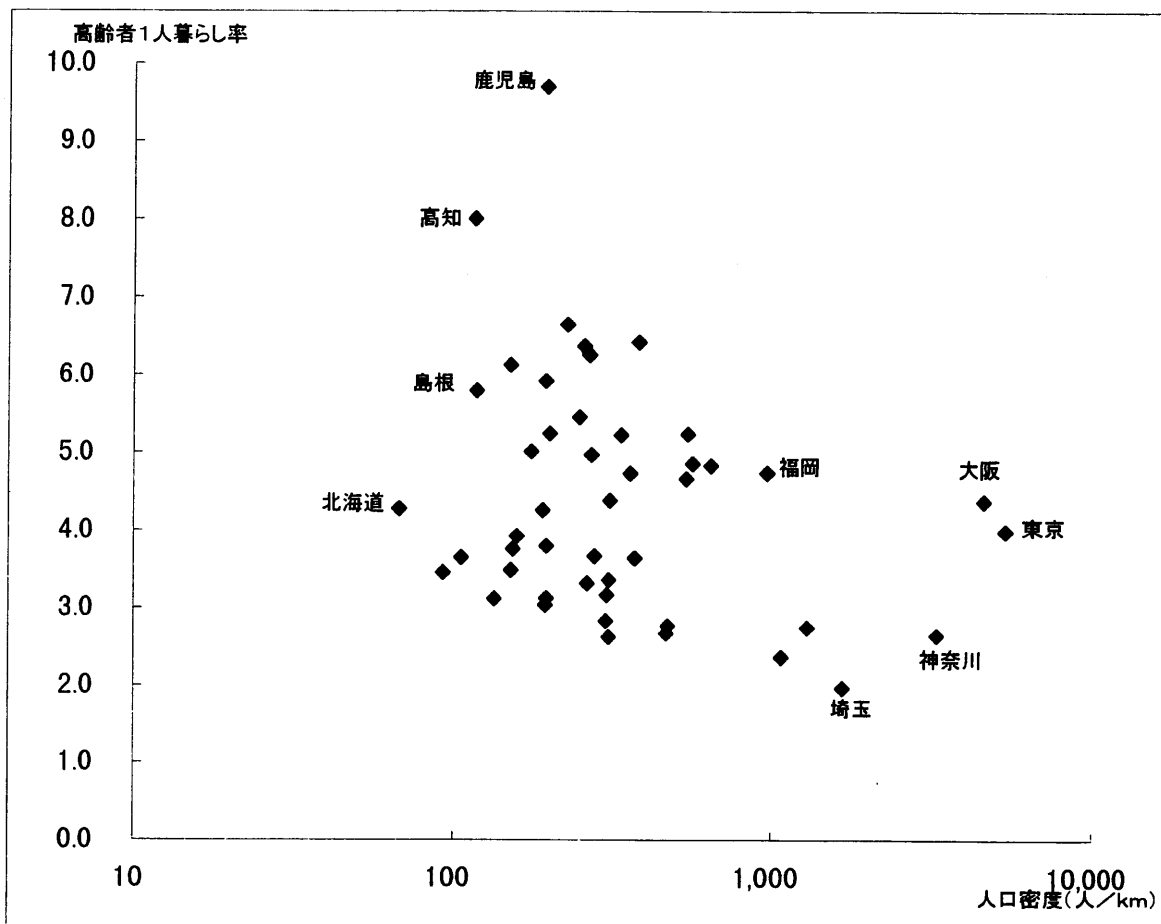
資料) 総務庁統計局「平成2年国勢調査報告」

2) 高齢者1人暮らし率

図2-1-6は、都道府県別の人口密度と高齢者の一人暮らし率との分布を示したものである。なお、ここでの高齢者1人暮らし率とは、全世帯数に占める高齢者1人暮らし世帯（すなわち65歳以上の親族のいる一般世帯の単独世帯数）の割合のことである。全体的には、各都道府県の位置する点が広く分散しており、直線的な傾向は見られないが、人口密度が高く高齢者1人暮らし率は平均的な地域（東京、大阪）、人口密度は比較的高いが高齢者1人暮らし率の低い地域（神奈川、埼玉等）、人口密度は低く高齢者1人暮らし率は高い地域（鹿児島、高知）などいくつかのグループに分かれると考えられる。

なお、1人暮らし高齢者率が最も高い県は、鹿児島県（9.7%）であり、ついで高知県（8%）である。一方、1人暮らし高齢者率がもっとも低い県は、埼玉県（2.0%）であり、埼玉県より人口密度の高いの3都府県の高齢化率（神奈川県（2.6%）、東京都（4%）、大阪府（4.4%））は埼玉県のそれより高くなっている。

図2-1-6 都道府県別人口密度と高齢者1人暮らし率との関係



	人口密度 (人/km)	1人暮らし 率 (%)		人口密度 (人/km)	1人暮らし 率 (%)		人口密度 (人/km)	1人暮らし 率 (%)
北海道	67.7	4.28	石川	278.3	3.67	岡山	270.8	4.97
青森	154.4	3.76	福井	196.7	3.80	広島	336.3	5.23
岩手	92.8	3.46	山梨	191.0	4.26	山口	257.4	6.37
宮城	308.7	2.63	長野	158.8	3.93	徳島	200.7	5.25
秋田	105.7	3.65	岐阜	195.0	3.04	香川	545.9	5.24
山形	135.0	3.12	静岡	471.9	2.77	愛媛	267.0	6.26
福島	152.7	3.49	愛知	1,299.9	2.75	高知	116.1	8.01
茨城	467.0	2.67	三重	310.4	4.39	福岡	968.9	4.74
栃木	302.0	2.84	滋賀	304.3	3.17	佐賀	360.0	4.73
群馬	309.0	3.36	京都	564.3	4.86	長崎	382.3	6.42
埼玉	1,686.8	1.97	大阪	4,636.5	4.38	熊本	248.7	5.46
千葉	1,077.5	2.37	兵庫	644.9	4.83	大分	195.2	5.92
東京	5,430.2	3.99	奈良	372.7	3.64	宮崎	151.2	6.13
神奈川	3,308.5	2.65	和歌山	227.5	6.65	鹿児島	195.8	9.69
新潟	196.7	3.13	鳥取	176.0	5.02	沖縄	539.9	4.66
富山	263.8	3.32	島根	117.9	5.79			

注) 高齢者1人暮らし率=65歳以上親族のいる一般世帯の単独世帯数/全世帯数
資料) 総務庁統計局「平成2年国勢調査報告」

(3) 地域別少子化の動向

次に、地域別の少子化の動向について、同じく1990年の国勢調査データをもとに、都道府県別の人口密度と年少人口及び年少人口率の関係について考察を行う。

1) 年少人口

図2-1-7は、横軸に各都道府県別の人口密度を、縦軸に各都道府県における15歳未満の人口をとった散布図である。全体的な特徴として、人口密度が上昇するにしたがって年少人口が増加する傾向が示されている。

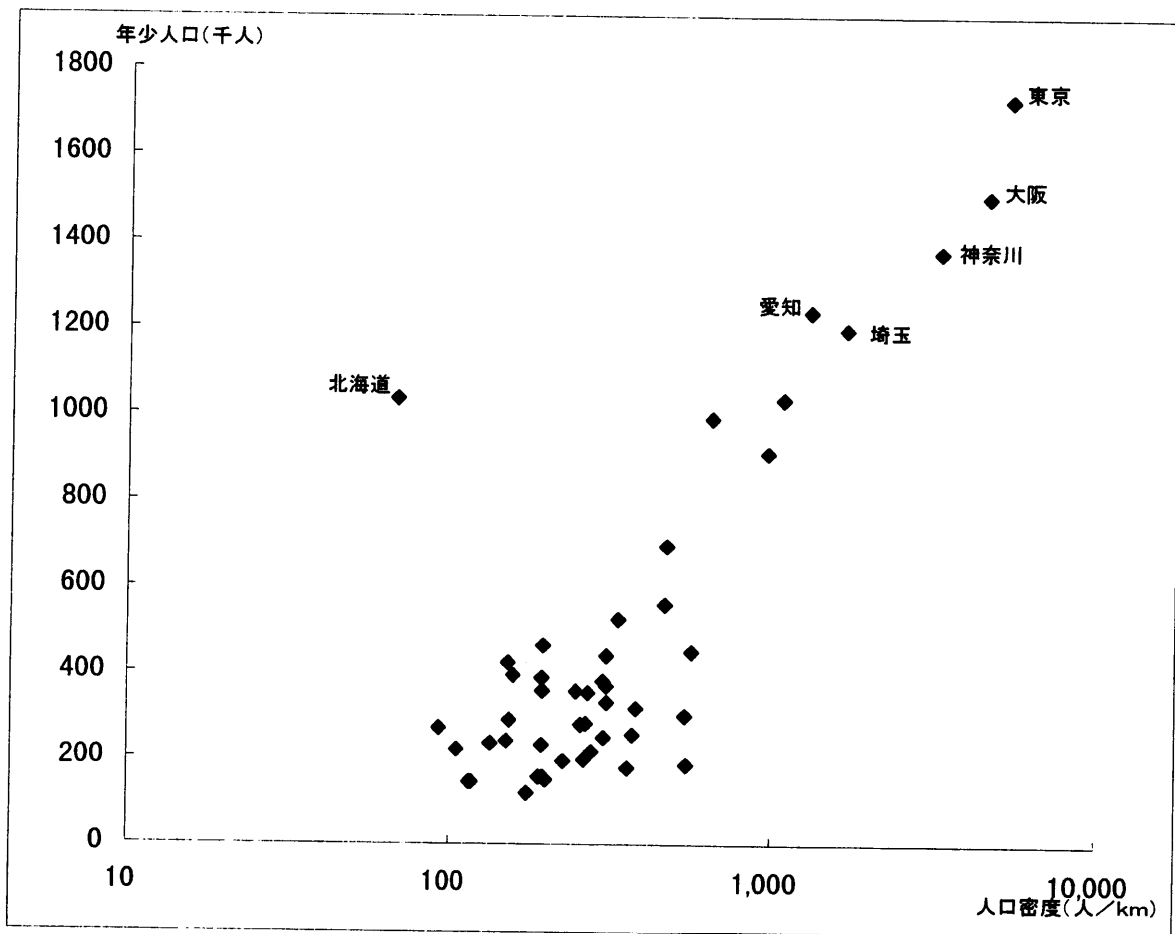
都道府県別にみると、人口密度が高く、年少人口が多い都道府県として、東京都、大阪府、神奈川県、埼玉県、愛知県があげられる。

また、人口密度が比較的低い地域については、年少人口は20～40万人前後のところにかたまっており、大きな差異はみられない。

2) 年少人口率

一方、人口密度と年少人口率（各都道府県における15歳未満の人口の全人口に占める割合）との分布を示したのが図2-1-8である。東京都（14.6%）と沖縄県（24.5%）が特異な分布を示しているが、他の道府県はおおむね平均値（18.2%）の周辺に位置している。年少人口率については、人口密度の大小に関わらず全国的にほぼ一定であるといえる。

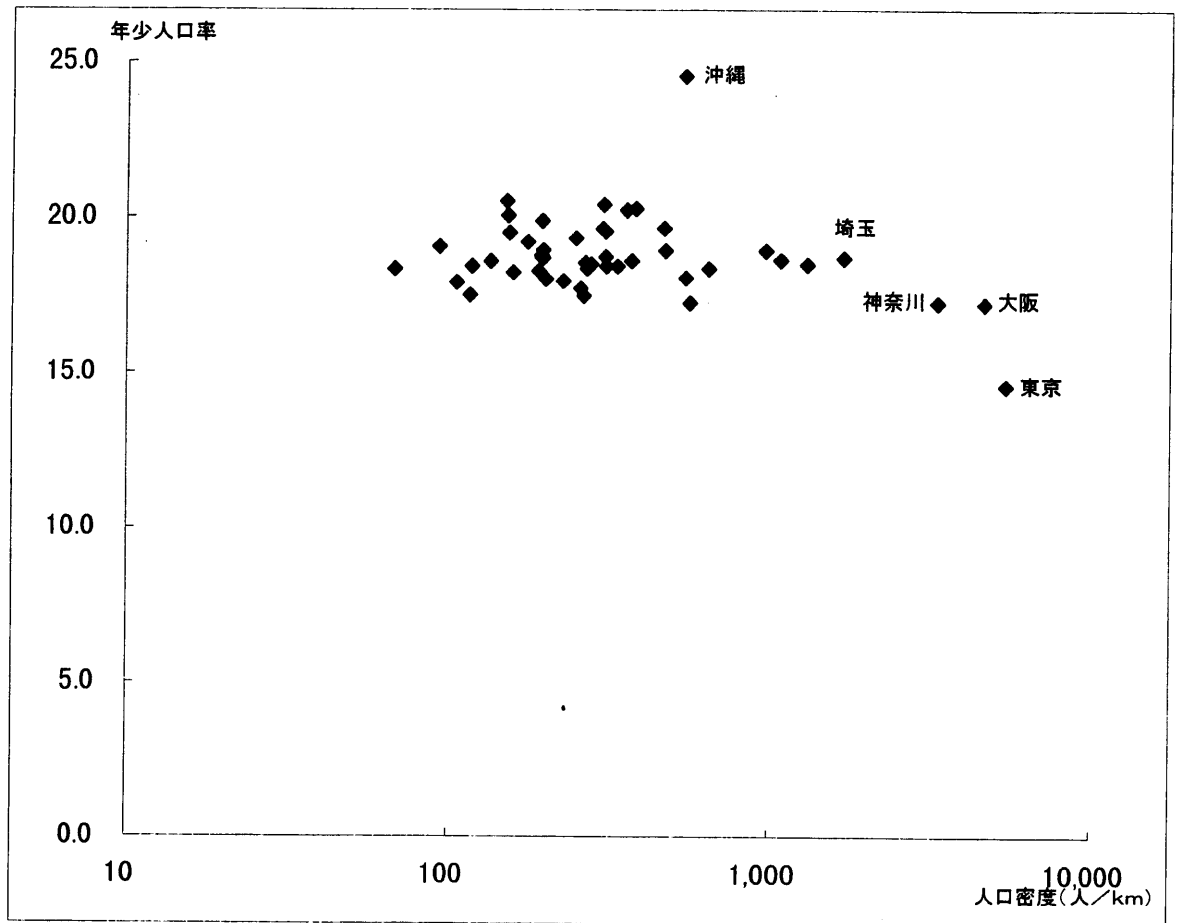
図2-1-7 都道府県別人口密度と年少人口との関係



	人口密度 (人/km)	年少人口 (千人)		人口密度 (人/km)	年少人口 (千人)		人口密度 (人/km)	年少人口 (千人)
北海道	67.7	1,034	石川	278.3	215	岡山	270.8	353
青森	154.4	289	福井	196.7	156	広島	336.3	525
岩手	92.8	270	山梨	191.0	156	山口	257.4	279
宮城	308.7	439	長野	158.8	393	徳島	200.7	150
秋田	105.7	220	岐阜	195.0	388	香川	545.9	185
山形	135.0	234	静岡	471.9	695	愛媛	267.0	281
福島	152.7	422	愛知	1,299.9	1237	高知	116.1	144
茨城	467.0	559	三重	310.4	330	福岡	968.9	910
栃木	302.0	380	滋賀	304.3	249	佐賀	360.0	178
群馬	309.0	368	京都	564.3	449	長崎	382.3	317
埼玉	1686.8	1,197	大阪	4,636.5	1504	熊本	248.7	356
千葉	1077.5	1,034	兵庫	644.9	991	大分	195.2	231
東京	5430.2	1,727	奈良	372.7	256	宮崎	151.2	240
神奈川	3308.5	1,376	和歌山	227.5	193	鹿児島	195.8	357
新潟	196.7	462	鳥取	176.0	118	沖縄	539.9	300
富山	263.8	196	島根	117.9	144			

資料)総務庁統計局「平成2年国勢調査報告」

図2-1-8 都道府県別人口密度と年少人口率との関係



	人口密度 (人/km)	年少人口率 (%)		人口密度 (人/km)	年少人口率 (%)		人口密度 (人/km)	年少人口率 (%)
北海道	67.7	18.3	石川	278.3	18.5	岡山	270.8	18.3
青森	154.4	19.5	福井	196.7	18.9	広島	336.3	18.4
岩手	92.8	19.0	山梨	191.0	18.3	山口	257.4	17.7
宮城	308.7	19.5	長野	158.8	18.2	徳島	200.7	18.0
秋田	105.7	17.9	岐阜	195.0	18.8	香川	545.9	18.1
山形	135.0	18.6	静岡	471.9	18.9	愛媛	267.0	18.5
福島	152.7	20.1	愛知	1,299.9	18.5	高知	116.1	17.5
茨城	467.0	19.7	三重	310.4	18.4	福岡	968.9	18.9
栃木	302.0	19.6	滋賀	304.3	20.4	佐賀	360.0	20.2
群馬	309.0	18.7	京都	564.3	17.3	長崎	382.3	20.3
埼玉	1686.8	18.7	大阪	4,636.5	17.2	熊本	248.7	19.3
千葉	1077.5	18.6	兵庫	644.9	18.3	大分	195.2	18.7
東京	5430.2	14.6	奈良	372.7	18.6	宮崎	151.2	20.5
神奈川	3308.5	17.2	和歌山	227.5	18.0	鹿児島	195.8	19.9
新潟	196.7	18.7	鳥取	176.0	19.2	沖縄	539.9	24.5
富山	263.8	17.5	島根	117.9	18.4			

注) 年少人口率 = 15歳未満人口 / 全人口

資料) 総務庁統計局「平成2年国勢調査報告」